

II 2023年度 事業報告書

1. 2023年度研究助成などに関する事項

1) 研究者助成：わが国における口腔衛生の進展を期し、小児歯科学、口腔衛生学の研究者への助成をする。特に将来とも情熱を持ってこの分野で活躍しようとする若手層の研究者への研究費の補助としての助成である。

A：小児歯科学部門（支給件数：8件 応募件数：20件 助成金額：1件30万円）

| No. | 氏名 | 年齢 | 所属 | 研究テーマ | 推薦者 |
|-----|--------------------|----|---|--|-------|
| 1 | クログウシ リカ 黒厚子 璃佳 | 31 | 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 小児歯科・障害者歯科学分野 医員 | FGF2-CCL11を軸とした歯髄免疫応答反応の治療への 応用戦略の基盤研究 | 岩本 勉 |
| 2 | オツジ ジョウ 尾辻 盛 | 29 | 日本大学歯学部 小児歯科学講座 専修医 | MeCP2変異に基づく感覚異常の発症メカニズムの解明 | 菊入 崇 |
| 3 | キヨカリ ユウキ 清川 裕貴 | 29 | 朝日大学 歯学部 口腔構造機能発育学講座小児歯科学分野 助教 | 乳歯を用いた小児の糖尿病への新規アプローチ | 齊藤 一誠 |
| 4 | アサオ コリア 浅尾 友里愛 | 32 | 広島大学大学院医系科学研究科小児歯科学 助教 | 新型コロナウイルス感染症が一時保護施設に入所する児童の 口腔に及ぼす影響の分析 | 野村 良太 |
| 5 | ヒロセ カツトシ 廣瀬 勝俊 | 35 | 大阪大学大学院歯学研究科 顎顔面口腔病理学講座 助教 | TEK遺伝子変異に基づく静脈奇形の病因解明と治療薬開発 | 豊澤 悟 |
| 6 | ミヤイ ユキコ 宮井 由記子 | 31 | 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科小児歯科学分野 大学院 | 原因不明の乳歯の早期脱落に関連する口腔細菌の病原性細菌 獲得までの細菌学的メカニズムの解明 | 仲野 道代 |
| 7 | カミツ タケヒロ 上津 豪洋 | 30 | 日本歯科大学新潟生命歯学部小児歯科学講座 助教 | Er:YAGレーザー切削象牙質面の接着力向上を目指した マルチユース接着材への展開 | 黒木 淳子 |
| 8 | タカノ ハヤト 高野 隼人 | 27 | 鶴見大学歯学部小児歯科学講座 大学院2年 | エナメル芽細胞のトランスポーター発現に対するTGF-β の役割について | 朝田 芳信 |

B：口腔衛生学部門（支給件数：8件 応募件数：25件 助成金額：1件30万円）

| No. | 氏名 | 年齢 | 所属 | 研究テーマ | 推薦者 |
|-----|---------------------------------|----|--|---|-------|
| 1 | オザキ マナミ 尾崎 愛美 | 34 | 日本大学歯学部衛生学 助教 | 加熱式タバコの歯周組織への影響 | 川戸 貴行 |
| 2 | イケダ エリ 池田 恵莉 | 34 | 大阪大学大学院歯学研究科微生物学講座 特任研究員 | 歯周病と腸内バランス異常の関連性の解明 | 川端 重忠 |
| 3 | シラキ ヒカル 白木 光 | 31 | 九州歯科大学大学院歯学研究科地域健康開発歯科学分野 大学院生（4年） | ウェアラブルデバイスを用いた軽度認知障害（MCI）予防のための 自己管理型咀嚼行動改善プログラムの開発に向けた予備的研究 | 安細 敏弘 |
| 4 | カウん ミヤット トウイン KAUNG MYAT THW | 33 | 新潟大学大学院医歯学総合研究科 予防歯科学分野 助教 | Effects of psychological distress on oral health outcomes in Community-dwelling Myanmar Adults | 小川祐司 |
| 5 | キタムラ タクミ 北村 匠 | 29 | 愛知学院大学歯学部口腔衛生学講座 大学院生（2年） | 職域成人の歯周状態改善を目的とした糖尿病要注意者 に対する保健介入アプローチ | 嶋崎 義浩 |
| 6 | オノ リュウタロウ 小野 龍太郎 | 34 | 京都府立医科大学大学院医学研究科歯科口腔学 助教・医長 | 地域在住高齢者を対象としたパノラマ線写真による 骨粗鬆症スクリーニング | 金村 成智 |
| 7 | シロハ マキ 白部 麻樹 | 34 | 東京都健康長寿医療センター研究所 自立促進と精神保健研究チーム 研究員 | 要介護高齢者への口腔衛生管理の課題 -認知症重症度による検討- | 平野 浩彦 |
| 8 | マスコ サヨ 増子 紗代 | 27 | 東京医科歯科大学 健康推進歯科学分野 大学院（2年） | 口腔の健康改善による医療費・介護費の削減効果の因果推論 | 相田 潤 |

2) 海外留学研究者助成：海外からの日本への留学研究者で、在日6カ月以上を経過し留学期間1年以上で小児歯科学、口腔衛生学・予防歯科学の他、矯正歯科学、歯周病学の研究に従事する研究者への研究費の補助として助成する。

(支給件数：4件 応募件数：12件 助成金額：1件30万円)

| No. | 氏名 | 年齢 | 所属 | 研究テーマ | 推薦者 |
|-----|---------------------------------------|----|--|---|--------|
| 1 | アウリア ラマダニ AULI RAMADHANI | 29 | 新潟大学大学院歯医学総合研究科予防歯科学分野 大学院生(2年) | The Risk of Dementia in Type 2 Diabetes Mellitus Patients with Periodontitis | 小川 祐司 |
| 2 | ナウレフォン ヴィナイソル Naruephon Vinaikosol | 28 | 東北大学大学院歯学研究科分子・再生歯科補綴学分野 大学院生(博士課程2年) | iPS細胞を用いた歯胚オルガノイド作製技術の開発 | 江草 宏 |
| 3 | エン シュンヨウ YAN CHUNYANG | 28 | 新潟大学歯医学総合研究科 口腔生命科学専攻摂食環境制御学講座 歯周診断・再建学分野 大学院 (博士課程) | イオン液体を用いた歯周塗布薬の開発研究 Development of Periodontal Topical Medication Using Ionic Liqui | 多部田 康一 |
| 4 | CHEN YAOSSEN 陳 瑤森 | 33 | 東京医科歯科大学大学院歯医学総合研究科口腔機能再構築学講座 咬合機能矯正学分野 大学院生(2年) | MAC (mandibular autorotation concept) surgery動物モデル作製と顎関節形態変化のメカニズム解明 | 小野 卓史 |

3) 海外歯科保健医療活動助成：歯科学及び歯科衛生学を学ぶ学生・大学院生が海外での歯科保健医療活動を通じて国際的視野の育成及び交流等による経験を通して医療人としてのその後の活動に貢献する者・団体へ支援助成する。

(支給件数：2件 応募件数：2件 助成金額：1件30万円)

| No. | 団体名 | 代表者 | 事業名 | 団体責任者 |
|-----|-----------|---|---|-------|
| 1 | 歯科医療研究会 | 東北大学歯学部3年 宋聖経 (ソン ソンギョン) | 韓国での二十歳を中心とした口腔保健意識調査と日韓での フロス推進の方略の開発 | 小関 健由 |
| 2 | 健康サポートクラブ | 愛知学院大学短期大学部専攻科 (口腔保健学専攻) 豊田 麻湖 (トヨダ マコ) | カンボジアにおける歯科研修活動 | 犬飼 順子 |

4) 歯科衛生学及び歯科衛生教育学研究者助成：わが国における口腔衛生の進展を期し、歯科衛生学及び歯科衛生教育学業務の向上につながる研究を助成し、もって社会の福祉に寄与することを目的とし、研究者に研究費の補助として助成する。

A：歯科衛生学部門 (支給件数：4件 応募件数：18件 助成金額：1件20万円)

| No. | 氏名 | 年齢 | 所属 | 研究テーマ | 推薦者 |
|-----|-------------------|----|---|---|-------|
| 1 | イノウエ コウコ 井上 裕子 | 29 | 東京医科歯科大学大学院健康推進歯学分野 特任研究員 | 高齢者の歯科受診と保健医療制度の関係 ：日欧の多国間比較研究 | 相田 潤 |
| 2 | コガ アヤカ 古賀 絢雅 | 30 | 九州歯科大学大学院歯学研究科口腔健康学分野 大学院生(2年) | β-glucanによるNFATc1の発現調節を介した破骨細胞分化 抑制の分子メカニズムの解明 | 藤井 航 |
| 3 | ヤノ カナコ 矢野 加奈子 | 39 | 広島大学大学院医系学総合健康科学専攻 口腔公衆保健学 大学院博士課程(2年) | 有病者の口腔から分離されたカンジダ株の抗真菌薬感受性 と病原因子の検討 | 太田 耕司 |
| 4 | スズキ ヒトミ 鈴木 瞳 | 39 | 東京医科歯科大学大学院歯医学総合研究科 口腔健康教育学分野 助教 | 多職種連携実践に向けた歯科衛生士の認識・能力 の客観的評価と実践への課題の検討 | 吉田 直美 |

B：歯科衛生教育学部門 (支給件数：2件 応募件数：7件 助成金額：1件20万円)

| No. | 氏名 | 年齢 | 所属 | 研究テーマ | 推薦者 |
|-----|--------------------|----|--|---|--------|
| 1 | アダチ ナオコ 安達 奈穂子 | 37 | 東京医科歯科大学大学院歯医学総合研究科 口腔疾患予防学分野 助教 | 対話可能なヒト型患者ロボット・シミュロイドを用いた教育プログラムの 開発 | 品田 佳世子 |
| 2 | アキヤマ キョウコ 秋山 恭子 | 37 | 公立大学法人埼玉県立大学保健医療福祉学部 健康開発学科 口腔保健学専攻 准教授 | 歯科衛生学生への歯科衛生士の倫理綱領の教授方法 に関する検証 | 吉田 隆 |

5) 学会奨励助成：一般財団法人日本小児歯科学会及び一般財団法人日本口腔衛生学会の運営の一助として助成する。

・一般財団法人日本小児歯科学会及び一般財団法人日本口腔衛生学会に各10万円を助成

2. 研究報告書の発行に関する事項

2023年度の研究助成支給者の研究報告書を作成し関係者に配布（2024年8月発行予定）。

3. 会議に関する事項

1) 理事会

① 第38回理事会開催

日時：2023年5月12日（金）

議題：

- 第1号議案 「2022年度事業報告及び決算報告の承認」の件
- 第2号議案 「理事及び監事の任期満了に伴う選任候補」の件
- 第3号議案 「理事長1名及び常務理事1名の選任候補」の件
- 第4号議案 「第14回評議員会開催」の件

報告事項：

- 1. 「代表理事、常務理事の職務執行状況」報告
- 2. 「2022年度の財政状況」報告
- 3. 「フォローアップ助成実施に向けた準備」報告
- 4. 「2023年度研究助成の応募状況」報告

② 第39回理事会（書面決議）開催

日時：2023年6月26日（水）

議題：

- 第1号議案 「代表理事（理事長）選任」の件
- 第2号議案 「常務理事選任」の件

③ 第40回理事会（書面決議）開催

日時：2023年7月26日（木）

議題：

- 第1号議案 「選考委員会にて選任された研究助成者」の承認の件

④ 第41回理事会開催

日時：2024年3月12日（火）

議題：

- 第1号議案 「2024年度事業計画及び事業予算」の承認の件

報告事項：

- 1. 「代表理事、常務理事の職務執行状況」報告
- 2. 「記念書籍の配布状況」報告
- 3. 「フォローアップ助成事業の詳細」報告

2) 評議員会

第 14 回評議員会開催

日 時：2023 年 6 月 20 日（火）

議 題：

第 1 号議案 「2022 年度事業報告及び決算報告」の承認の件

第 2 号議案 「理事及び監事の任期満了に伴う選任」の件

報告事項：

1. 「2023 年度事業計画及び事業予算」報告
2. 「第 39 回理事会（書面決議：代表理事及び常務理事の選任）開催」報告
3. 「2023 年度研究助成応募状況」報告

3) 選考委員会

2023 年度選考委員会開催

日 時：2023 年 7 月 10 日（月）

新型コロナウイルス感染が 5 類感染症に移行したことから、対面で選考委員会を開催。出席した選考委員が口腔衛生学部門、小児歯科学部門及び歯科衛生学・歯科衛生教育学部門に分かれ、事前に各選考委員が申請書類を基に採点した採点表を参考とし、部門ごとの順位付けを行った。

その後、選考委員全員で議論し、慎重かつ公平に応募者の中から研究助成候補者を選定した。各研究助成金の支給者は前述の事業報告書に記載の通りである。